



日本天文学会 2003 年秋季年会・ジュニアセッション特別企画  
「中高生と天文学研究者の交流会」の報告

鈴木 麻乃（愛媛県総合科学博物館）

9月に愛媛で開催された秋の天文学会で、今までにない形の交流会を行いました。愛媛出身または愛媛大学卒業生の研究者および普及教育関係者が集まり、地元の中高生とお茶を飲むという企画で、小さい輪ながらも楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

会の概要は次の通りです。

○日時：2003年9月27日（土）13:30～15:00

○場所：愛媛大学 城北キャンパス

○参加者：18人（内訳は次の通り）

- ・中学生3人（1、3年）
- ・高校生2人（3年）
- ・教員1人（生物担当）
- ・普及教育関係4人

堀（徳島県那賀川町科学センター）

愛媛出身

吉住（あすたむらんど徳島）

愛媛大学卒業

矢治（和歌山県かわべ天文公園）

鈴木（愛媛県総合科学博物館）

- ・研究者8人

山岡（九州大学）愛媛出身

土居（東京大学）愛媛出身

新田（総合研究大学院大学）

愛媛出身

大西（長野工業高等専門学校）

吉川（宇宙科学研究所）

沢（愛知教育大学）

松村（香川大学）

内藤（九州大学）

○中高生側からの質問

- ・自分が持っている石が隕石かどうか（実物持参）
- ・プラネタリウムの仕事は楽しいか？
- ・流星はなぜ流れるのか？
- ・天文学の範囲は？
- ・天文学はもうかるのか？

○スタッフ側からの質問、話題

- ・すばる望遠鏡に関する話題（土居さん）
- ・各種のプログラムの宣伝！（銀河学校、君天等）
- ・天文関係の職につくことについて

結局、予定より30分延長！雑談を交えながら最後までワイワイ交流を楽しみました…。



交流会の様子

交流会の中では、次のような内容が話題として出ました。

○自己紹介